

会員マイページでの提出手順および申請書類の作成方法

2026 年度

1. 専門医認定審査書類	2～3
2. 専門医認定審査書類 作成方法	
1) 申請に必要なファイル	4
2) 申請書類Aの作成方法	5～13
3) 申請書類Bの作成方法	14
4) 申請書類Cの作成方法	15
5) 提出書類のPDF化【申請書類A】	16
6) 提出ファイルの名前付け	17

1. 専門医認定審査書類 電子提出方法（会員マイページ）

1) 会員マイページで専門医（新規申請）を開く



2) 申請書類をアップロードする

（下記画像は申請書類 A のみアップロードしている状態です。）

その他

専門医新規申請__申請書類 A（PDF）	形成太郎__申請書類A.pdf 削除 ダウンロード
	ファイルを選択 アップロード
専門医新規申請__申請書類 B（PPT）	
	ファイルを選択 アップロード
専門医新規申請__申請書類 C（PDF）	
	ファイルを選択 アップロード

※アップロード後にご自身でダウンロードし、申請書類の向きが正しく表示されていることをご確認ください。データの向きが正しくない場合は、適正な向きに修正したうえで再度アップロードしてください。

3) 申請内容を確定する

その他

変更箇所は で表示されます

専門医新規申請_申請書類 A (PDF)	形成太郎_申請書類A.pdf	ダウンロード
専門医新規申請_申請書類 B (PPT)	形成太郎_申請書類B.pptx	ダウンロード
専門医新規申請_申請書類 C (PDF)	形成太郎_申請書類C.pdf	ダウンロード

戻る

確定する

4) 申請完了後の修正・変更

変更を保存しました。

会員情報

その他

その他

その他の変更

その他	内容
専門医新規申請_申請書類 A (PDF)	形成太郎_申請書類A.pdf
専門医新規申請_申請書類 B (PPT)	形成太郎_申請書類B.pptx
専門医新規申請_申請書類 C (PDF)	形成太郎_申請書類C.pdf

※申請期間であれば、修正・変更が可能です。必ず「確定する」ボタンをクリックの上、修正後のデータにアップロードされているか、ダウンロードにてご確認ください。申請期間後の書類の差替えは不可です。

2. 専門医認定審査書類 作成方法

1) 申請に必要なファイル

書類は以下の3種類です

申請書類A

- A-1) 履歴書
- A-2) 受験者確認票シート（枠内に収まるように写真データを貼り付けてください）
* 1) ~ 2) は形成専門医申請 EXCEL の1ファイル中にあります。
- A-3) 研修プログラム修了証明書（統括責任者より発行）
- A-4) 300 症例確認表（NCD-Person から PDF にて出力が可能）
- A-5) 10 症例確認表（NCD-Person から PDF にて出力が可能）
- A-6) 厚生労働省より発行される『臨床研修修了登録証』の写しの PDF
- A-7) 春季・秋季学術講習会受講証明書データ * 4 枚必要です。
- A-8) 日本国医師免許証のコピーの PDF

申請書類B

- B-1) 10 症例の所定の病歴要約データ

申請書類C

- C-1) 形成外科に関する論文1編の別冊の PDF データ

※論文の掲載雑誌についての条件は、年に2回以上発行されており、査読がある（日本語または英語の）学術雑誌（Journal）を指し、proceedings などは認められません。ただし、PubMed で検索可能なオンラインジャーナルなどについては、発行回数による制限はありません。また、論文が受理された日付が提出期限内であれば有効とします。なお、入会前に掲載された論文は対象外となります。掲載予定の論文に関しては、必ず『掲載証明書（原紙をスキャンしたもの）』と『論文本文』を1つの PDF にまとめて提出してください。

ファイル形式

申請書類A: PDF 形式

申請書類B: PowerPoint 形式

申請書類C: PDF 形式

最新の申請書類書式はこちら

※申請書類ダウンロードページ <https://jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html>

2) 申請書類A の作成方法

① 履歴書

- ・エクセルシートの入力項目について、色のついていない部分も必要に応じ記入してください

履歴書

2026 年 10 月 1 日現在

履 歴 書

(フリガナ) 氏 名 形成 太郎
(旧姓) ()
※旧姓がある場合のみ

所属先名

春恒社大学

所属研修プログラム名

春恒社大学形成外科研修プログラム

※受験者への連絡・送付は、会員マイページの登録情報を元に行います。必ず会員マイページの登録情報を最新に更新ください。
また、生年月日、医師登録番号・取得日、メールアドレス等の会員マイページに登録されている情報は、申請情報として参照・利用されます。そのため、本履歴書への記入は不要です。
所属先は、会員マイページの登録内容と同一のものを記入してください。

大学卒業以降の学歴、研修歴(職歴)、業績(論文あるいは発表)、賞罰

(年次順に記入)

〔西暦〕年	月	学歴、研修歴(職歴)
2010	3	春恒社 大学卒業
2010	4	東京国際医療センター 初期臨床研修医

(年次順に記入)

〔西暦〕年	月	学歴、研修歴(職歴)
2012	4	春恒社大学形成外科
2014	4	大久保病院形成外科
2014	10	新宿病院形成外科
2016	10	春恒社大学病院形成外科

なお、生年月日、医師登録番号・取得日、メールアドレス等の会員マイページに登録されている情報は、申請情報として参照・利用されます。そのため、本履歴書への記入は不要です。

所属先は、会員マイページの登録内容と同一のものを記入してください。

※必ず、会員マイページの登録情報を最新に更新してください。

② 受験者確認票

受験票に相当する書類です。

顔写真を貼り込んでください。

一般社団法人日本形成外科学会専門医認定審査会

受 験 者 確 認

受験番号

氏 名

形成 太郎



*適正サイズに写真を加工の上、枠内に綺麗に収めてください
(上記の破線通りにしなくても問題ございません。あくまで見やすいサイズの目安です)

所属機関

春恒社病院

10 症例用写真チェックシート（原則提出不要）

・本シートはご自身の症例写真が適切か確認を行うための書類で、審査に用いられるものではなく、原則提出不要です。

・手術日、症例区分、10症例のパワーポイント書類に使用する写真に術前・術中・術後・縫いあがり（術後に記載ください）は、それぞれに付番した番号を入力してください。審査での写真の有無の確認、術後写真の術後6ヶ月以上フォローアップや撮影日等が適切であるかの確認を迅速に行うための書類です。

・1症例ごとに術前・術中・術後・縫いあがりの写真がそろっていないとシートのセルが色塗りのままになります

症例区分はプルダウンから選択し、骨に関する症例の場合は○を選択してください。

症例 1	手術日	2018/7/5		症例区分	(2) 顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷		
	区分	写真番号（パワーポイントにて付番した写真番号を記載）				骨に関する症例か	○
	術前	①	②	③			
	術中	⑤	⑥	⑦	⑧		
	その他画像等 (X-p,CT,MRI,病理写真など)	④	⑫				
	術後	写真番号	撮影日	術後経過日数	写真番号	撮影日	術後経過日数
		⑨	2020/2/24	599	⑩	2020/2/24	599
		⑪	2018/11/1	119			#NUM!

↑180日以上経過していない場合は赤字になります

③ 研修プログラム修了証明書（統括責任者より発行）

ご自身の研修プログラムでの研修歴を証する書類です。

必ず統括責任者に署名をいただってください。（署名のみで捺印は不要です）

【サンプル】

形成外科専門研修プログラム修了証明書

医師氏名：形成 太郎

日本形成外科学会会員番号：013-123-4567

所属研修プログラム名称：ケイセイ大学形成外科専門研修プログラム

研修プログラム開始時期：2018 年 4 月 1 日

研修プログラム終了時期：2022 年 3 月 31 日

【研修歴】

施設名＜施設の種別＞：ケイセイ大学 形成外科＜基幹施設＞

研修期間：2018 年 4 月 1 日～ 2019 年 3 月 31 日（12ヶ月）

施設名＜施設の種別＞：新宿大久保2丁目病院 形成外科＜連携候補施設＞

研修期間：2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 8 月 31 日（17ヶ月）

施設名＜施設の種別＞：静岡ケイセイクリニック【地域】＜地域医療研修施設＞

研修期間：2020 年 9 月 1 日～ 2020 年 12 月 31 日（4ヶ月）

施設名＜施設の種別＞：ケイセイ大学附属新宿病院 形成外科＜連携施設＞

研修期間：2021 年 1 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日（15ヶ月）

備考：

2019 年 6 月 1 日～9 月 30 日まで育休取得。

上記の者は、研修プログラム中に経験すべき必要症例数（術者として経験する症例数を含む）を満たしていることを含め、日本専門医機構規程による形成外科領域専門研修プログラム/カリキュラムを修了したことを証明する。

西暦 2022 年 4 月 1 日

ケイセイ大学形成外科専門研修プログラム統括責任者（自署）：形成花子

専門研修基幹施設名：ケイセイ大学 形成外科

④ 300 症例確認表（NCD-Person から PDF にて出力が可能）

研修期間の間に、300 症例（うち執刀 80 例）の経験したことを証する書類です。

- ・集計期間は研修期間です。出力にご注意ください。
- ・必要症例数が満たさないと「不足」の表記となり、申請条件を満たしません。

（下記画像はあくまでサンプルとしてご用意しており、申請条件を満たしていない箇所がございます。）

形成外科領域専攻医 NCD登録症例（1）登録症例数

以下の内容が National Clinical Database に登録されていることを証明します。

氏名 テスト太郎
医籍登録番号 000001

期間（始） 2018-04-01
期間（至） 2022-03-31

出力集計日時 2022-06-29 17:29

項目		経験症例数			執刀数			
		実績	基準		実績	基準		
A: 指定症例		合計	14	220	不足	12	40	不足
I 外傷	小計	10	60	不足	9	10	不足	
	熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷	6	5		6	2		
	顔面軟部組織損傷	2	20		1	2		
	顔面骨折	2	10		2	3		
	上肢・下肢の外傷	0	25		0	3		
	内訳							
II 先天異常	小計	4	15	不足	3	4	不足	
	唇裂・口蓋裂	3	5		2	0		
	頭蓋・顎・顔面・頸部	1	5		1	2		
	四肢	0	5		0	2		
III 腫瘍	小計	0	90	不足	0	18	不足	
	良性腫瘍・母斑・血管腫	0	75		0	16		
	悪性腫瘍	0	5		0	0		
	腫瘍切除後の組織欠損	0	10		0	2		
IV 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド		小計	0	15	不足	0	3	不足
V 難治性潰瘍褥瘡・その他の潰瘍（下腿・足潰瘍を含む）		小計	0	25	不足	0	3	不足
VI 炎症・変性疾患四肢・体幹・その他の炎症・変性疾患		小計	0	15	不足	0	2	不足
VIII その他眼瞼下垂、腋臭症、その他		小計	0					
B: 自由選択枠		合計	20			20		
VII 美容		小計	0			0		
上記以外の形成外科症例		小計	20			20		
C: 総合計 (A+B)		累計	34	300	不足	32	80	不足

※提出方法の参考例として作成したものです。記載内容は実際の申請条件を満たしていない場合がありますので、正式な申請時には必ず最新の条件をご確認ください。

⑤ 10 症例確認表（NCD-Person から PDF にて出力が可能）

申請書類Bで提出される 10 症例（術者として）を証する書類です。

- ・集計期間は研修期間です。出力にご注意ください。

（下記画像はあくまでサンプルとしてご用意しており、申請条件を満たしていない箇所がございます。）

形成外科領域専攻医 NCD登録症例（2）提出症例

以下の内容が National Clinical Database に登録されていることを証明します。

氏名 テスト 一郎
医籍登録番号 000001

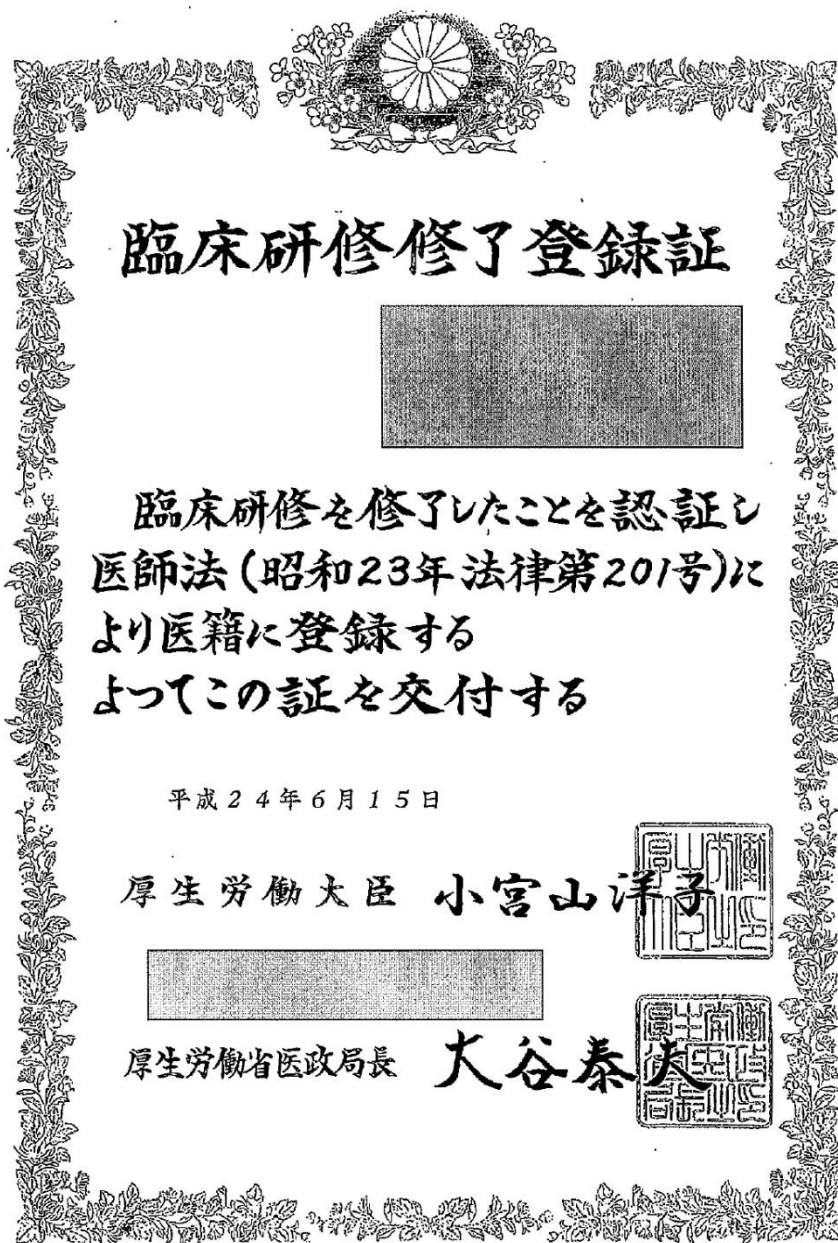
期間（始） 2018-04-01
期間（至） 2022-03-31

出力集計日時 2025-08-20 15:26

#	NCD症例ID(手術NO)-手技NO	手術日	術者	施設名
年齢	性別	疾患分類 > 疾患名	手技	
201809130100636257(1)-1	2018-09-14	術者	ケイセイ大学形成外科	
1	20歳代	I 外傷 熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷 > 深達性凍傷（Ⅲ、Ⅳ度）		
男性		創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径5cm未満）		
202001300101382746(2)-1	2019-01-01	術者	ケイセイ大学形成外科	
2	60歳代	II 先天異常 唇裂・口蓋裂 > 口唇裂（口唇のみ）		
男性		顎・口蓋裂形成手術（軟口蓋のみ）		
202212150102659158(4)-1	2022-03-03	助手1	ケイセイ大学形成外科	
3	40歳代	III 腫瘍 良性腫瘍 > 尋常性疣贅		
男性		皮膚悪性腫瘍切除術（広汎切除）		
201910100101129530(3)-1	2019-07-07	指導医	ケイセイ大学形成外科	
4	40歳代	I 外傷 顔面軟部組織損傷 > 顔面の人咬傷		
女性		骨内異物（挿入物を含む）除去術 顔面		
201911070101164119(1)-1	2019-11-01	術者	ケイセイ大学形成外科	
5	10歳代	I 外傷 顔面軟部組織損傷 > 顔面挫滅創		
男性		創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径5cm未満）		
201912190101264151(1)-1	2019-11-18	術者	ケイセイ大学形成外科	
6	60歳代	I 外傷 熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷 > 全身管理を要する熱傷（B.I.<5）		
男性		分層植皮術（25未満）		
201905310101001813(1)-1	2019-02-05	指導医	ケイセイ大学形成外科	
7	80歳代	II 先天異常 唇裂・口蓋裂 > 唇顎口蓋裂（口唇と口蓋の裂が連続しているもの）		
女性		口唇裂形成手術（口唇のみ）（両側）		
201910100101129516(2)-1	2019-09-01	術者	ケイセイ大学形成外科	
8	10歳代	II 先天異常 頭蓋・顎・顔面の先天異常 > 埋没耳（袋耳）		
男性		小耳症手術（軟骨移植による耳介形成手術）		
202001300101382755(3)-1	2020-01-01	術者	ケイセイ大学形成外科	
9	70歳代	II 先天異常 唇裂・口蓋裂 > 口唇裂（口唇のみ）		
男性		顎・口蓋裂形成手術（軟口蓋のみ）		
201912190101263083(1)-1	2020-01-01	術者	ケイセイ大学形成外科	
10	20歳代	I 外傷 顔面骨骨折 > 前頭骨骨折		
男性		手掌、足底腱膜切除術・切除術 鏡視下によるもの		

※この書類は提出方法のサンプルです。記載内容は仮のものであり、実際の申請には、申請条件を揃えてご提出ください。

⑥ 厚生労働省より発行される『臨床研修修了登録証』の写しの PDF)



⑦ 春季・秋季学術講習会受講証明書データ * 4枚必要です。

248

The Japan Society of Plastic and Reconstructive Surgery



[Redacted Box] 殿

貴殿は 2016 年度日本形成外科学会春季学術講習会に参加され学術研鑽に努められましたことを証します。

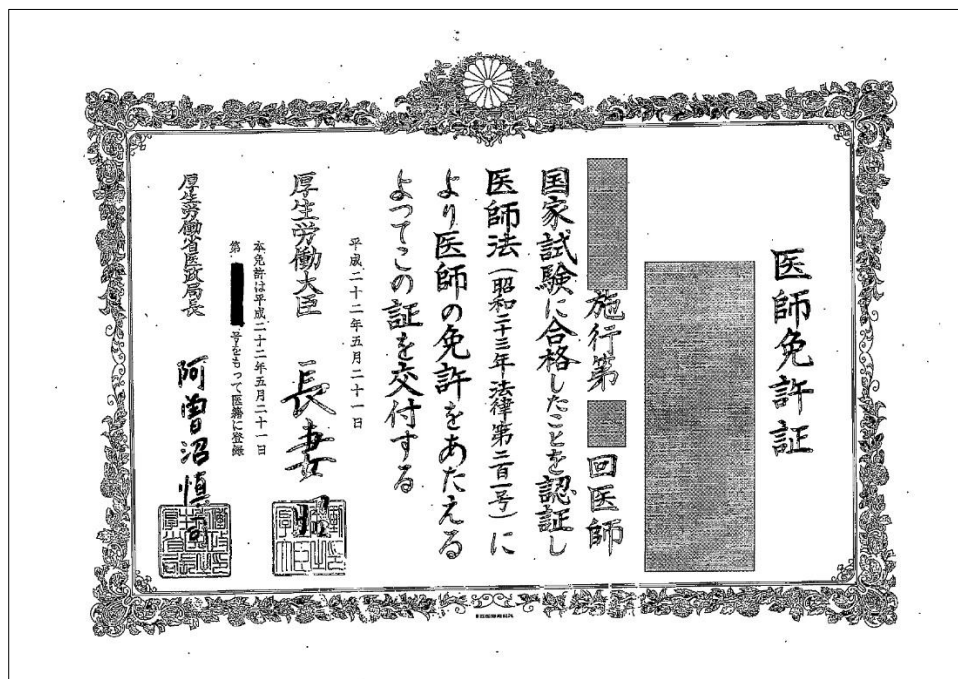
2016 年 4 月 12 日
日本形成外科学会

学術委員会委員長 理事長

横田 和典 細 川

⑧ 日本国医師免許証のコピーの PDF



以上 8 点を一つの PDF ファイルにして、アップロード提出してください。

申請書類 A 提出サンプルイメージは [こちら](#)

3) 申請書類 B の作成方法

① 10 症例の所定の病歴要約データ

10 症例はパワーポイントで提出してください。

・過去の申請書類を使用して提出されるケースが見受けられます。必ずパワーポイント形式で作成し、最新の書式をご使用ください（2025 年度以前の書式は使用できません）。

・ファイルの冒頭に示される指示に従って入力してください

（2-1_10 症例_2026.pptx の 2～3 枚目）

・手術記録用紙 1 → 手術記録用紙 2 → 手術記録用紙 3（写真）・・・の順に作成してください

・1 症例につきシートを複数枚使っても問題ございません

（例：記録用紙 1 が 1 枚、記録用紙 2 が 2 枚、記録用紙 3 が 2 枚で 1 症例分など）

10 症例 ファイルサイズの圧縮

10 症例ファイルは多くの写真を貼り付けるのでファイルの容量が大きくなります。

そのまま提出せず、適切なファイルサイズに圧縮して提出してください。

審査用ファイルは画面表示に適切な品質（150ppi）程度で十分です。

図表の圧縮方法は以下をご参照ください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/graphics-visuals/reduce-the-file-size-of-a-picture-in-microsoft-office>

4) 申請書類C の作成方法

② 形成外科に関する論文編の別冊の PDF データ

PDF で提出してください。

・年に2回以上発行されており、査読がある（日本語または英語の）学術雑誌（Journal）を指し，proceedings などは認められません。ただし，PubMed で検索可能なオンラインジャーナルなどについては，発行回数による制限はありません。また，論文が受理された日付が提出期限内であれば有効とします。

・なお，入会前に掲載された論文は対象外となります。掲載予定の論文に関しては，必ず『掲載証明書（原紙をスキャンしたもの）』と『論文本文』を1つのPDFにまとめて提出してください。

5) 提出書類の PDF 化

【申請書類 A】 データごとに PDF 化し 1 つにまとめて提出する

①履歴書

②受験者確認票シート

③研修プログラム修了証明書（統括責任者より発行）

（旧制度者は研修施設ごと、研修一覧表も併せて提出する）

④300 症例確認表（NCD-Person から PDF にて出力が可能）

⑤10 症例確認表（NCD-Person から PDF にて出力が可能）

⑥厚生労働省より発行される『臨床研修修了登録証』の写しの PDF

⑦春季・秋季学術講習会終了証 4 枚のスキャン

⑧日本国免許証の写しのスキャン

この順番でスキャンして PDF を結合してください

赤字→入力し、プリントアウトし、署名し、スキャンし PDF 化してください

黄字→入力し、PDF 化してください。

青字→現物をスキャンし PDF 化してください。

提出サンプルイメージは[こちら](#)

【申請書類 B】

① 10 症例の所定の病歴要約データ（パワーポイント）

パワーポイントのまま提出してください。

【申請書類 C】

①論文 1 編（形成外科に関する論文）のスキャン

現物をスキャンし PDF 化してください

6) 提出ファイルの名前付け

提出するファイルは以下のとおりです。ファイルは【氏名__内容】 という名前にしてください。3 ファイルをそれぞれ会員マイページへアップロード頂きます。

例：形成太郎 氏が提出するファイル

形成太郎__申請書類 A

形成太郎__申請書類 B

形成太郎__申請書類 C